

広幡中学校で「いのちの授業」

を実施しました

12月5日(木)、広幡中学校で、2年生を対象に、「いのちの授業」を実施しました。

この「いのちの授業」は、命の大切さを伝える活動をするために助産師を中心に結成されたユニット「LOVE BIRTH」によって実施されています。

命について質問を投げかけたり、胎児人形や受精卵の大きさが実感できるように様々な教材を使用したりなど、五感を通して学べる参加型の授業です。命の大切さや素晴らしさを伝えることで、子どもたちの自尊心や自己肯定感を高めることを目的としています。



▲新生児の人形を持って、その感想を話しました



▲受精卵の大きさを確認

授業では、胎児人形を使いながら、お母さんのおなかの中の受精卵が胎児になるまでの過程を教わったり、代表生徒の心臓の速さと、胎児の心臓の速さを比べたりしました。また、助産師が関わったお産のエピソードやお産の写真、映像を通して、いのちの大切さや素晴らしさを学びました。

LOVE BIRTHの助産師 岡田 聡子氏から子どもたちへ「生まれてくることができたのは、当たり前ではない、すごいこと。だから自分に自信と誇りをもってほしい。私たちはどれだけ苦しくても生きようとする力を持っている。」とメッセージを贈りました。

保健委員長の加藤美空さんは、「私たちが成長できたのでは、どれほど大変で素晴らしいことなのか分かった。この先大変なことがあっても頑張って生きていこうと思う。」と感想を述べました。

本授業は、藤枝ライオンズクラブの助成を受けて行いました。

